

集団生活

「あなたは、他人に+（プラス）の影響を与えられる人になっていますか？」と質問されたら、あなたはどうか答えますか？この文章を読み進める前に、考えてみてください。

先生はもともと人見知りでした。相手から話しかけてもらえると話しやすいのですが、初対面の人に話しかけるとなると緊張してしまい、苦手でした。（嘘だと思います？本当なんです（笑））ですが、「苦手なことから避けている自分ではあかん！」と思い、人見知りを克服しようと思いました。そこで、人見知りの人の気持ちがわかるからこそ、自分から話しかけることを心掛けました。そうすると、自分の周りに多くの人が集まっていました。「人見知りじゃない人生ってこんなに楽しいんや…」と感じた先生は、自分から話しかけることに加えて、自分が発する言葉の内容をポジティブなものにするようにし、その場の雰囲気明るく・楽しくなるよう意識しました。そうするとさらに、人が集まることに加えて、「一緒にいて楽しい」「めっちゃ前向きやね」と言われるようになりました。

では、話は本題へ戻ります。“他人に+（プラス）の影響を与えられる人”とは、一体どのような人間なのか。先生が思うには、その答えは無限大です。例えば、勉強面においては、自分が一生懸命に勉強し相手のライバルになることで「〇〇に負けへんように勉強頑張るぞ！」と相手に思わせる人間になっています。部活面において、自分が必死に汗だくで練習をすることで「みんな必死に練習頑張ってるから、自分もみんなのために頑張ろう！」と相手に思わせる人間になっています。友達関係の面において、自分が困っているときに助けてくれることで「こういうことをされたら嬉しいんや。」「助かるわ。」と思うでしょう。落ち込んだ時に励ましてもらえたり、前向きな言葉をかけてもらうことで、「この人のおかげで元気になれた。」「明日からまた頑張ろう！」と思えるでしょう。“他人に+（プラス）の影響を与えられる人”とは、一人一人違い、多様に存在します。

今回の心のメッセージで、先生がみんなに考えてほしいことは、「集団生活とは？」ではなく、「集団生活において、あなたは他人に何ができますか？」ということです。さあ、そこでもう一度みなさんに質問します。「あなたは、他人に+（プラス）の影響を与えられる人になっていますか？」自分を見つめ直し、自分を知り、他人（集団）に+（プラス）の影響を与えられる人になってください。

年 組 番 名前